

清友

No.113

2019年1月

東京清掃労働組合退職者会

〒102-0072 千代田区飯田橋3-9-3 SKプラザ5F

TEL 03 (3237) 9995 FAX 03 (3237) 4541



- | | |
|--------|-------|
| ○ 会長 | 庄司 隆男 |
| ○ 副会長 | 丹野富士雄 |
| ○ 副会長 | 柳 章 |
| ○ 事務局長 | 戸枝 章 |
| ○ 幹事 | 渡辺 正勝 |
| ○ 幹事 | 岩渕 勝美 |
| ○ 幹事 | 山岸 治美 |
| ○ 幹事 | 岡澤 徹 |
| ○ 幹事 | 押田 五郎 |
| ○ 幹事 | 箱田 修一 |
| ○ 幹事 | 篠田 和則 |
| ○ 幹事 | 佐藤 晋一 |
| ○ 会計監査 | 穂戸田 功 |
| ○ 会計監査 | 小林 守 |

今年の夢

今年の干支は「亥」。「亥固まる」、いい流れをさらによくするとか。ターニング・ポイントになるとも。

- 退職者会の会員倍増
- 年金・医療・介護制度改善
- 非正規差別の撤廃
- 東京清掃の闘い前進
- 脱原発、核廃絶と基地撤去
- 改憲発動阻止・安倍内閣退陣

今年も、「現・退一致」の取り組みで、これらの課題を実現させていきたいと思えます。

再建20周年へ向けて 新たな一歩を！

東京清掃労働組合退職者会

会長 庄司 隆男



会員ならびにご家族の皆様、明けましておめでとうございます。本年も皆様が健やかに過ごされまますよう、心より祈念いたします。

たったことを思い起こせば、感慨深いものがあります。

昨年、再建10周年を祝うことができませんでした。再建当時、継続できるのか不安だらけ

会員も再建時の2倍を超えました。ほぼ毎月何らかの行事を行い、機関紙「清友」を毎月発行してきました。しかし、会員数は東京清掃の退職者組織としては少ないと思

清掃労働者としての 矜持を胸に！

東京清掃労働組合

中央執行委員長 染 裕之



東京清掃退職者会の皆さん、あけましておめでとうございます。健やかに新年を迎えられたことと思います。

を成し遂げました。こうした勧告が出された要因は、行政系人事制度の見直しによる職員構成比の変化があります。

昨年の賃金確定闘争は、マインナス9、671円という史上最も悪の勧告について、区長会に実施を断念させるといふ快挙

この変化を踏まえた公民比較を行うべきであったにも係らず、これを怠った人事委員会が作り出した勧告でした。

ます。会員を増やすため、一層努力していく所存です。

一方、昨年も、安倍政治との対決が続きました。特に問題だったのは、安倍政権が日本政治史に大きな汚点を残したことです。モリ・カケ疑惑に関わって財務省が組織的に公文書の改ざんと廃棄を行い、国会と国民をあざむきました。

国会では、過労死容認法Ⅱ高プロ制度やカジノ実施法、入管法改悪等を国民の納得を得ないまま次々と強行採決し、沖縄では、県民の民意を無視

人事委員会への抗議行動、署名の取り組み、総決起集会の実施、交渉では勧告の不当性を指摘し続けました。このように組織の総力を結集して闘った結果として、労働組合の要求により勧告実施を断念させたことは大きな意義があります。労働組合の存在感を示すことができたのではないかと自負しています。

また、今年も東京清掃結成70周年の年となります。ご存知のように、戦後、この国が民主主義を基本とする新たな

して辺野古新基地建設を強行しています。許せません。今年には統一地方選と参議院選の年です。安倍政治の終わりを演出しようではありませんか。

今年も、退職者・高齢者の運動を推進するとともに、反戦平和、反差別、脱原発や、非正規・労働争議支援の取組みを「現・退一致」の立場に立つて進め、現役世代の応援団として、東京清掃との連携をさらに強めます。20周年へ向けて新たな一歩を踏み出していきたいと思

国に生まれ変わろうとしていた1949年、旧都職労清掃支部として結成されました。以降、皆さん方先輩は、清掃労働者の権利確立、処遇改善に向けて奮闘を続けてきました。こうした闘いの歴史と伝統を礎にして現在の東京清掃労働組合があると認識しています。今年も厳しい情勢は変わらないでしょうが、清掃労働者としての矜持を胸に、しっかりと運動を進めていく決意です。現退一致の精神で共に頑張りましょう。

春の学習会

- 日時 3月5日(火)
13時開始
 - 場所 清掃会館地下ホール
 - テーマ 終活セミナー
「心の整理、葬儀とマナー」
 - 講師 (株)セシモア 青木良泰さん・朝長廣太郎さん
- ※午後3時(学習会終了後)から懇親会
※参加される方は2月15日までに連絡ください。



新春の集い

- 日時 2月2日(土)
11時30分開会
- 場所 中華「桜蘭」
*飯田橋より5分
- 参加費 3,000円
※長寿祝いと開運じゃんけん大会を行います。お楽しみに。
※参加される方は1月15日までに連絡ください。



お花見ウォーク

- 日程 3月26日(火)
10時 北越谷駅前集合
- 場所 北越谷・元荒川堤
※コース、実施内容は近日中に決定
※2月に募集案内の予定。



演芸を楽しむ会

- 出し物 国立演芸場2月上席
- 日時 2月7日(木)
12時30分集合
- 参加費 500円
※弁当・飲物は各自ご用意ください。
※参加される方は1月15日までに連絡ください。



その他の主な行事

- 「歩こう会」観梅散歩
2月18日(月)
午前10時 亀戸駅北口集合
*梅と天神めぐり
- 清掃・人権交流会「丸木美

術館・高麗神社バスツアー」
3月3日(日)
8時「飯田橋」駅集合予定
*会費は未定

- 春の学習会(その2)
5月21日(火) 13時

清掃会館地下ホール
*テーマは「遺言と相続」
*講師は税理士を予定

- 第12回定期総会
6月14日(金)
清掃会館地下ホール



新年のごあいさつ

第25回参議院議員選挙
自治労組織内候補予定者



岸まきこ

新年あけましておめでとうござい
ます。

私は参議院議員「あいはらくみこ」
さんの後継として、本年7月に行わ
れます参議院議員・全国比例選
挙に、自治労から立候補を予定し
ています「岸まきこ」です。

社会保障制度と平和を守り、先
輩方がこれまで築いてこられた運
動をしっかりと引き継ぐため、精一
杯頑張っていきます。今年が勝負の
年です。どうぞよろしくお願いいた
します。

プロフィール

1976年北海道岩見沢市(旧栗沢
町)生まれ。94年旧栗沢町役場入職
(現岩見沢市)。2013年から自治
労中央執行委員。現在に至る



年金・介護と医療・税制・脱原発等

地公退・総務省要求と回答

地公退は、10月5日に、江崎参議院議員同席のもと「総務省要求」を提出し、即日回答を受けました。主な回答内容は以下の通りです。

年金の制度設計

◆年金制度の検討に当っては、今後も、関係者の意見も十分伺いつつ、対応していきたい。

被用者年金適用拡大

◆公的年金制度持続法改正により、平成29年4月から、全地方自治体で①週20時間、②月額賃金8.8万円、③勤務期間1年以上見込み、④学生以外の短時間労働者の厚生年金適用拡大を実施。短時間労働者の適用拡大へ向け、平成31年9月末を期限に社会保障審議会年金部会において議論が行われている。引き続き適用拡大へ必要な対応を行いたい。

年金制度の具体的要求

▼要求：(1)年金制度・財政安定のため、雇用安定と質向上、賃金改善、次世代育成支援を図ること。(2)基礎年金をマクロ経済スライド対象外に。(3)選択制を前提に国民年金保険料拠出期間延長。基礎年金納付上限延長、基礎年金増額。年金受給開始時期選択肢を70歳以降に拡大。在職老齢年金は就労を促すものになるようあり方を検討すること。

◆回答：年金制度は年金生活者と現役世代の理解を十分に得る必要がある。制度改正にあたり、社会保障審議会年金部会等での十分な議論が必要。

◆雇用安定・質向上、賃金改善へ、地方公務員の臨時・非常勤職員の適正な任用確保のため、平成32年4月から会計年度任用職員制度を導入。

◆年金受給開始時期や在職老齢年金のあり方は、社会保障審議会年金部会等で議論が行われている。

年金積立金運用

◆地方公務員共済組合の積立金運用は自主性発揮の観点から基本指針中心値範囲の1.5倍の許容乖離幅を設定。

◆国連責任投資原則の趣旨を踏まえた社会的責任投資は、各地方公務員共済組合で実施しており、今後、社会的責任投資等の実施に向けた検討がさらに進むものと考えている。

追加費用削減

◆追加費用の削減は、本人負担が少なかった恩給期間分を負担に見合う水準にするもの。沖縄の追加費用期間が長いのは、沖縄以外の地共済法適用が昭和37年12月、沖縄は昭和41年7月からなので、恩給期間が違いため。追加費用削減は、①減額率上限は恩給期間を含む共済年金全体の10%、②年230万円以下の給付は減額しない措置を講じた。



医療保険制度

▼要求：財政制度等審議会建議で言及された①75歳以上の医療費自己負担定率2割化、②応能負担の算定基礎に金融資産を加算、③薬剤費自己負担引上げと受診時定額負担を実施しないこと↓回答なし。

地域包括ケア

◆地域包括ケアシステムの推進に当たり、市町村が地域実情に応じて効果的・効率的にサービス提供できるよう支援策を厚労省へ要請。介護基盤整備は、地方財政措置に加え、地域医療介護総合確保基金による財政支援が行われている。所要の国費確保や地方財政措置を講じることにより、介護基盤の計画的整備を推進する。

生活保護・税番号・脱原発

▼要求：(1)生活保護基準復元、生活困窮者自立支援策の確実な実施。(2)社会保障・税番号の個人情報漏洩防止策強化、社会保障個人会計との完全遮断。(3)エネルギー政策地方分権、再生可能エネルギー普及、脱原発社会実現。↓回答なし。

19 予算案

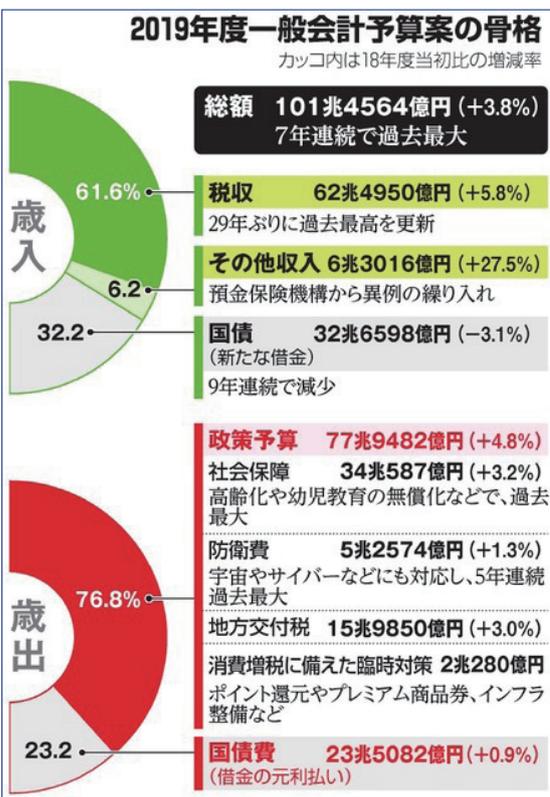
予算総額百兆円超、防衛費増大とバラマキ・便乗、見せかけの増収が特徴

12月21日、政府は19年度予算案を閣議決定しました。

一般会計の総額は当初予算では初めて100兆円を超えました。その原因は、消費増税に備えた景気下支え対策と称したバラマキと便乗にあります。

歳出面で目につくのは、防衛費の7年連続増額です。前年度比1.3%増ですが、初めから補正予算に回す分が隠されており、実際はもっと高額になります。

消費増税対策は、①キャッシュレス決済のポイント5%還元、②プレミアム商品券、③住宅購入支援、④インフラ機能向上緊急対策などですが、キャッシュレスの普及が実際の狙いだったり、消費の押し上げに寄与しないことが明らか。バラマキでしかありません。社会保障費は、高齢化による費用増加抑制も市場価格にあわせる薬価改定など



【出典】朝日新聞報道記事より抜粋

2019年度 暮らしこうなる

消費税増税	▶ 10月から消費税率が8%から10%に引き上げ
増税対策	▶ 軽減税率を導入し、酒・外食を除く飲食料品などは税率8%のまま据え置き ▶ 中小店での買い物で、キャッシュレス決済時に最大5%分のポイントを還元 ▶ 低所得者と0~2歳児のいる家庭に、購入額以上の買い物ができるプレミアム付き商品券を発行 ▶ 自動車税を年1000~4500円減税。住宅ローン減税は期間限定で現行の10年から13年に延長
子育て	▶ 10月から3~5歳の幼稚園費や保育所の保育料と、0~2歳の低所得世帯の保育料を無償化
医療・介護	▶ 病院で処方される薬の公定価格を引き下げ ▶ 介護保険料について、40~64歳の高所得の会員の負担を増やし、65歳以上の低所得者の負担を軽減 ▶ 75歳以上を対象にした医療保険料の軽減策を廃止
年金	▶ 低所得者向けに年金生活者支援給付金を支給

【出典】東京新聞報道記事より抜粋

元々決まっていたものが大半で、選挙前は痛みを伴う政策は回避するという自民党政治の特徴が現れています。

一方、歳入も実にいい加減です。民間シンクタンクの予測より高めに設定した経済成長を前提に、過去最大の増収を見込み、これに伴い借金の新規国債発行を減額してしま

す。見せかけの財政再建であり、バラマキ予算を確保するための方便です。また、金融機関の破たんにも備える目的の預金保険機構利益剰余金の国庫納付により「税外収入」を積み増すなど、何でもありで、安倍政治を象徴しています。

日本の高額所得者はきちんと税負担せよ

政府や財界は「日本の所得税は高い」と言います。本当でしょうか。主要先進国の最高税率は、日本45%（復興税0.95%除く）、米37%、英・独・仏45%ですから、アメリカより高いようです。

ただし、個人所得税実負担率（世界統計白書）では、日本7%、米12%、英14%、独13%、仏10%、日本の高額所得者の税負担は主要先進国中最も低いのです。

日本は税金の抜け穴だらけです。その代表例は株の配当所得です。主要先進国の配当所得に対する最高税率（財務省統計）は、日本15%定率、米20%、英38%、独26%、仏60%。日本の配当所得は分離課税なので、どんなに高額配当があっても15%です。

日本の富裕層がアメリカと同等の税負担をすれば税収は2.5倍になるという試算もあります。消費税を全廃してもオツリが出ます。



辺野古の海を土砂で埋めるな！ 改憲発議阻止！安倍退陣！

辺野古新基地建設現場に土砂投入が強行される中、18年最後の19日行動に約3千人が結集、「辺野古埋立て絶対反対！」「改憲発議必ず止めよう！」「安倍政権必ず倒そう！」「市民と野党は共闘するぞ！」とテンポよくコールしました。退職者会の参加者は10名でした。

主催者代表挨拶に続き、政党から社会民主党、共産党、国民民主党、立憲民主党が共闘



へ向けた決意を表明しました。

一坪反戦地主関東ブロックや改憲問題対策法律家6団体連絡会等がそれぞれの闘いの報告を熱く語った後、主催団体の高田健さんが、①1月下旬に予定される通常国会の開会日に集会を開催し、安倍政権打倒の決意を示す。②2月19日は沖繩の普天間基地返還期限の日と重なるので、国会正門前で大集会を開催する。③5月3日の憲法集会は、改憲発議の山場になると予想されていること

から、最大規模の集会にしたいと、3つの行動を提起し「最大限の取組みを」と訴えました。今年こそ、安倍政権の退陣へ向けて、精一杯頑張りたいと思います。

闘いの現場から～12月



安心総合共済 安い掛金で大きなメリット



全日本自治体退職者会が取り扱っている会員向けの損害保険『安心総合共済』は、「傷害事故」「賠償事故」「携行品損害」「預かり品賠償責任」を対象とする損害保険の商品の中でも、

- ①掛金が安い（割引率最高レベル）
- ②加入にあたり年齢制限なし
- ③医師の審査不要（がん補償除く）
- ④緊急医療相談等のメディカル・アシストも無料

と、メリット一杯、お得です。

旅行保険・ゴルフ保険の要素もありますので、加入を検討してみてください。商品や加入の相談は退職者会へどうぞ。